

住民代表委員と白川町民生委員に対するアンケート

これから先、みんなが使いやすい公共交通とは、どんなもの？

どんな公共交通（移動サービス）なら今より便利に使えらと思いますか？

①あなたがお住まいの地域に、これからも濃飛バスが走っていると想定した場合（濃飛バスの路線変更や、バスと他の移動サービスを組み合わせるのも、アイデアです。）

【民生委員】

- ・町の中央に南北に通ずる幹線道を整備し巡回する。これにより学校統合等が考えやすくなると思う。
- ・バス路線から離れた地域との通行手段としてマイクロ等の狭い道を走る車を考案。
- ・現在走っているスクールバス、病院、福祉施設の車をバス停まで運行。
- ・白川－東白川線の路線一本のみとする。
- ・**最寄りのバス停まで距離があるため利用できない。**また他の移動サービスとの組み合わせも現実に無理があると思われる。
- ・小型のバスにして今まで行っていなかった所まで細かく走って頂けるともう少し利用しやすくなるかな？ それとJRの時間に合わせてほしい。**バスの料金の支払い方法もわかりやすいといいと思います。**
- ・高齢者を乗せるために路線の変更やJR中心でなくて、生活中心の路線に変更する。
- ・佐見独自で考えていかなければ難しいと思います。福祉会、せせらぎ園（サンシャイン）の協力をいただき、濃飛バスまでの道の行き来も大切。事務所、車、運営等話し合いながらまとめてほしい。
- ・どん詰まり感をなくすこと。黒川は昔、蛭川方面にバスが走っていた。恵那方面への買い物、中央線の利用などできる路線を復活すること。
- ・東白川方面連絡バス路線を新設すること。
- ・**県道から入った枝線までの運行を希望する。**
- ・従来のバスより小型が良い。
- ・病院や買い物のできる店舗で乗降できるようにしてほしい。（時間も考えてほしい。）
- ・バスを小型化すると良いと思う。
- ・高齢化し免許返上となると移動手段の要ともいえるバスが撤退してしまうと困ることも多いと思います。学生さんが利用する時間帯等はバス、それ以外の日中は移動サービス車（小型車）を走らせてもらえれば、今使われている補助金の軽減に少しでも繋げていけると思います。

- ・単に行先ではなく目的別の車両にする。(病院、買い物、他)
- ・曜日ごとに目的を変えたりして、運休日を増やす。(効率)
- ・県道を走るだけの現在の路線では今までと同じで空のバスが走るようになると思う。高齢者が利用するには、バス停まで出ることが困難であり、家の近くまで入って来てもらえるようなものであれば利用がしやすいと思う。
- ・**数十年バスを利用したことがないため、これからも利用はないと思う。**
- ・通学以外は医者、買い物、お金の出し入れ等が主たる目的である。その目的を考え小型自動車を走らせることでいいかと思う。白川町は広いので、どの地区も毎日走らせることは難しいので、今日は〇〇地区、今日は〇〇地区ということでもいいのではないか。
- ・**高齢者の方は足腰の悪い人が多く、バス停まで坂道の関係で歩くことが大変な様で、民間のサービス事業も少なく困っています。**
- ・通勤、通学、病院、買い物、移動スーパーを中型のバスで走らせたなら自由がきくのでは。朝夕は車を少し多めに、時に買い物も出来る時間もとっていいのでは。

【住民代表委員】

- ・**通学の電車の時間に合わせてバスが欲しい。**
- ・今のような大きな物でなくても良いので。(乗る人も少ないし...)
- ・もう少し小さい車にして中新田、柿反、奥新田まで行けると良い。
- ・JR白川口駅発着の時間に接続をよくする。(電車との接続)
- ・定期バスの停留場所を増やす。(高齢者の歩行距離を短くする。)
- ・スーパーマツオカや白川病院まで定期バスの運行を延長できないか。
- ・運行本数にもよるが、利用頻度を上げる必要がある。
- ・濃飛バスを見てもほとんど人が乗っていないですが、それでも利用される方はいます。うまく活用できると良いと思います。濃飛バスをスクールバスとして利用は出来ないか？ 路線だけでなく入り組んだ所も。
- ・現在バスの利用者は保育園、高校生が主と考えます。病院バスは病院へ通院する車が運転できない患者さん。この2つを合わせて運行する方法は考えられます。運転できなくなれば、他人に乗せてもらうかバスだけが移動手段になるので、合理的な方法が必要でしょう。
- ・空のまま大きなバスが動いているは残念なので、何か対策が必要。
- ・買い物、病院受診、**理容**、旅行など用途さまざまに利用できる様に、事前に予約できて、美濃加茂や下呂など町外の病院へも電車を使って受診できる様な時間にバスが運行できると良い。これから**介護予防の観点**からも、路線バスを利用して集合場所(サロン、介護予防教室)まで行けるといい。

②あなたが住まいの地域に、濃飛バスが来なくなった！と想定した場合 (バス以外の足を考えてみてください。)

【民生委員】

- ・近くの所有者等が運行する。
- ・スクールバス、福祉施設車にて運行する。
- ・**運転ボランティアについて関心を持っている方の人数を把握することが必要。** アンケート及び募集をつのり意見を聞いてみる。幅広い分野での話になると思われそうですが、有識者の提言をもとに進めていけたらと願います。
- ・タクシー、移動サービス共に不可能と思われる。家族、近隣の人をお願いするしか手段はない。
- ・町営バス。
- ・移送サービスの充実。(各地区に移送サービスボランティアの方をより多く登録して頂き週に2～3日担当地区を巡回し、買い物や駅、病院に行きやすくする。)
- ・福祉施設を中心として、地区内外を回るワゴン車を運営する。
- ・サンシャイン(せせらぎ園のバス)を利用して高齢者の足の対応をする。保育園は小学校のスクールバスを利用する。
- ・町運営の小型バス(マイクロバス)の運行。東白川方面(診療所、商店)や恵那方面(中央線利用)も路線としたい。高校生の通学にも利用できる。この場合、福祉の移送バス、病院のバス、保育園バスは統合しなければならないだろう。
- ・近所の方、友達などに頼んで目的地へ行く。一車で！！
- ・社協が今やってみえる移送サービスの利用。
- ・コミュニティバス。
- ・保育園児の送迎に不便が生じるのではないか。(黒川保育園)
- ・店もなく、病院から遠い地域にとっては大変困ります。マイクロバス、ハイエース的な車に替わってでもいいので移動手段は何らかのかたちで残してほしい。
- ・月何回かでいいのでJA、JP、食品店、衣料品店など巡っていただける車が出るといった案はいかがでしょう。
- ・駅伝バス(短い区間をつないで、本数を増やすと同時に待ち時間を減らす。)
- ・現在でも濃飛バスの恩恵をそれほど受けているとは考えられない。乗車率はどれくらいあるかわからないが空車が多い。**通学する子ども達も親が送迎することが多く、子どもの進学と共に転居される方も多いと聞く。**バス以外の足となれば自家用車。高齢になり運転ができなくなった時には困る。
- ・今と変わらない。(自家用車利用のため。)
- ・東白川との連携も大切。(特に水戸野、中川、黒川)
- ・運転手の確保が必要である。

- ・一度で色々な目的が達成できるような所へバスを行かせることと、そんなに待たなくても帰ることができるように、また**待つ場所も必要**かと思う。
- ・白川町社会福祉協議会の移送サービスの活用アピール。
- ・高校生を抱えている家庭では、親が出勤する前に早朝駅まであるいは学校まで送迎しておられ苦労してみえますが、**濃飛バスが来なくなったと想定した場合、若い世帯は美濃加茂、可児、恵那の方に移住しないかと心配です。**
- ・家の食材だけでは難しいので、週に1回でも各地区へ車で買い物できるようにしてほしい。地区ごと日にちと時間指定にしてほしい。ワンコインで車の利用できるとうれしい。

【住民代表委員】

- ・今なら基本、通学のためにしか使っていないので、車での送迎になる。
- ・10人乗り位のワゴン車等で安江医院、郵便局、農協等を回ってほしい。
- ・移動販売車等回ってもらう。
- ・白川へは白川病院のバスを公共に利用させてもらう。
- ・黒川のまごころさんが大変良いと思う。
- ・高齢化が進むと大変不安をもつ。**自家用車が運転できなくなった場合、病院（通院）、買い物をどうしたらよいかと考える。**朝、昼、夕方の3回程度町内（白川地区）巡回小型バスの運行できないか。

白川北地区（佐見地区、坂ノ東地区、下油井地区）

白川地区（河岐、宇津尾、広野、中川、水戸野、和泉、白川口）

蘇原地区

黒川地区

- ・高齢者は車の運転が出来ないので公共交通対策が必要である。
- ・村で運営する支援バス（ハイエース、マイクロ）によるもの。（予約制）
- ・高校生等の通学JRに合わせた時刻走らせるもの。
- ・急な場合にそなえて待機状態のもの。（支援バス）
- ・白タクを地域限定で走らせる。
- ・自治会単位でバスやワゴン車を購入して運営する。
- ・自治会単位で車も購入したり、個人の車を利用して移送サービスを行う。
- ・**自治会単位での動きになると、住民の声も集まってくるのではないか。**

③その他、公共交通の専門家（運輸局、バス・タクシー事業者、国・県道路管理者、警察署、学識経験者）に聞いてみたいこと、伝えたいこと等があれば、記入してください。

【民生委員】

- ・道が整備されることにより、時短が図られ町の人口流出の減少及び町内移住者の増加が見込まれると思います。（瑞浪から下呂へ結ぶ路線等）
- ・コミュニティバスも必要ですが、各自乗り慣れた一般の自家用なども使えないものか。
- ・町が運営するとして、国からの支援はどれくらい期待できるのか。運転手が雇えない財政状態ではなんとも仕方無し。利用者負担をすることで、運賃はいくら程になるのだろうか。

・タクシー事業者 – 現在事務所かタクシーが常時待機している場所はどこですか？

予約可能なのですか？

希望すれば何処でもOKですか？

- ・こういった問題を抱えている地域もたくさん出てきていると思いますが、参考にできる案はないでしょうか。
- ・オンデマンドバス、タクシーの運行に防災無線を流用する。
- ・無許可営業（白タク）の特区指定（町内、郡内など）できないか？高齢化、人口減少地域！
- ・地区自治協議会単位で移送サービスする場合、認可は可能か？
- ・定年退職した方々に運転をお願いするとしたら問題点は何か。
- ・近い距離の移動も低料金はいくらなら...

【住民代表委員】

- ・山村ではタクシー会社もない。地域の活性化にも繋がることから個人営業（小規模）の許可を容易にすること。
- ・タクシーは料金が安ければ利用者が増えると思います。
- ・JRの下り線でPM8：00頃古井駅発の車両は、なぜ下麻生止まりなのですか？
- ・白タクの地域限定運行特区について。

④自由意見

- ・地域により抱えている問題が違うと思うので、地域で本当に車を必要としている人を把握し、**まず地域で何ができ、どれだけ支え合いが出来るのか話し合うべきである。**60～70代の元気な人もみえるので、毎日は大変でも地域ボランティアまたはパートを募り、宅配乗用車のようなことが出来るのではないか。(切符等で補助は必要)
- ・若い人や子育て世代でも、白川で働ける賃金保障する場がないと、どんどん外に出て行ってしまうので、この問題でもこうしたことが叶えられるようなシステムにしていくことが大切だと思う。
- ・人口も減少しているので、町行政も無駄な経費の見直しをし、少しでも実のあるお金の使い方を考えていくべきである。学校の統合問題もこうした問題の中で、一緒に考えていくべきである。その上で、利用者数から考えて、濃飛バスは必要ない。ワゴン車ぐらいでよいと思う。白川線は、東白川と話し合いが必要。
- ・1日3回はどの地域にも回れるとよいと思う。(年間の濃飛バスへの支払額以下でいけるのでは?)
- ・白川病院の巡回バス等も利用出来るとよい。
- ・マツオカの巡回販売もお願いすることも大切。(高齢者を外に出し、人とのふれ合いの場とすることも大切)
- ・買物は、宅配業務のような形でも出来るのではないか。